

12月4日～10日は人権週間

門真市人権週間記念のつどい

第21回

ひと・愛・コンサート 2016

第1部 ESPERANZA

エスペランサ



第3部 太鼓集団「魁」



第2部 パナソニック エコソリューションズ 吹奏楽団

12月9日(金)

午後6時15分開演 (午後5時45分開場)

門真市民文化会館

ルミエールホール (大ホール)

主催

門真市人権協会・門真市企業人権推進連絡会

後援

門真市・門真市教育委員会

入場無料 (要整理券)

入場整理券: 11月7日(月)から
下記配布場所にて配布
配布場所: 門真市人権女性政策課、
南部市民センター

手話通訳

要約筆記あり

一時保育あり (要予約)

0歳～就学前まで先着5名
11月25日(金)までに、電話・FAXで
問合せ先までご連絡ください。

問い合わせ先 門真市人権女性政策課

☎06-6902-6079 (直通)
FAX 06-6905-3264

門真市人権週間 記念のつどい 2016

ひと・愛・コンサート とは

国連は、1948年12月10日に「世界人権宣言」を採択、これを記念して12月10日を「人権デー」と定め、加盟国に対し人権擁護活動を推進することを求めており、我が国では、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定めています。

門真市人権協会・門真市企業人権推進連絡会は、市民の人権意識の高揚とさまざまな人権課題に取り組み、人権が尊重される豊かな社会の実現をめざして活動しております。多くの方々に人権尊重のメッセージを伝えることを目的に、毎年12月に人権週間記念のつどい「ひと・愛・コンサート」を開催しており、今年で21回目となります。

皆さんもこの機会に、人権を自分自身に関わる身近な問題として、気づき、考え、行動しましょう。



ルミエールホールへのご案内

ルミエールホール
門真市末広町29番1号
☎ (06) 6908-5300
京阪本線「古川橋駅」より南へ徒歩5分
※お車によるご来館は
ご遠慮願います。

第1部 ESPERANZA ～エスぺランサ～

フルート&オカリナのりょうこと、ベース&アレンジを担当する勝彦のユニット。

2001年から始めたエスぺランサのトークコンサート活動は、年々全国へと広がり、2013年沖縄公演を経て全国47都道府県開催を達成。1000回を超えるコンサートでは、夢と希望、愛と幸せ、そして感謝を伝えている。

フルートとオカリナそしてベースの深いサウンドは心に響き、親しみ易い選曲は時が経つのを忘れさせるほど。コンサートでは自身の闘病の経験をもとに、難病や障害を持つ人への理解を呼びかけており、人権、福祉、男女共同参画など、様々なテーマで講演活動も行っている。グループ名エスぺランサはスペイン語で夢や希望を意味する。

＜出演＞アンピリーバボー、テレビ東京「生きるを伝える」、KBSラジオ、サンテレビ、新聞、雑誌掲載多数

＜CD＞「ESPERANZA」「IN MY LIFE」



略歴

●りょうこ(フルート&オカリナ)

大阪音楽大学卒業後、全国で演奏活動を展開。「クローン病」の悪化により演奏活動を一旦断念するが、2001年7年のブランクを経て演奏活動を再開。奥田勝彦とエスぺランサを結成し、全国各地でトークコンサートを展開。難病を乗り越えての演奏活動は、様々なメディアで取り上げられている。

●勝彦(ベース&アレンジ)

1973年よりプロとして活動。坂本スミ子氏、尾崎紀世彦氏をはじめ、やしきたかじん氏のバックバンドリーダーを10年間務める。様々なジャンルを演奏できる技術と独特の音色はエスぺランサのステージで惜しみなく披露される。現在、難病を持ちつりょうこを心身共に支え、夢の実現をサポートしている。

第2部 パナソニックエコソリューションズ吹奏楽団

1959年に松下電工吹奏楽団として発足し、エコソリューションズ(ES)社を中心にパナソニック・グループ社員約45名で構成された今年で創設58年目を迎える職場バンド。

毎年9月に開催するルミエールホールでの定期演奏会や社内行事を始め、地域行事にも積極的に参加。人権週間記念のつどい「ひと・愛・コンサート」には第1回目より連続出演している。

2017年2月26日(日)には、愛知県名古屋市の愛知芸術劇場・コンサートホールで行われる、全国の有名な職場吹奏楽団が競演する「第6回職場バンドフェスティバル」に出演する予定。

第3部 太鼓集団「魁」

1999年結成。部落差別等あらゆる差別に立ち向かい、差別を許さない差別に負けない差別を撤廃する信念をもって活動し「人権・平和の大切さ、部落のすばらしさ」を、太鼓を通じ訴えるため、結成。「北斗七星の頭部にある4つの星の第一星のように輝きたい」「地球にある歴史・文化を次世代に継承し、時代に先駆けて活動していく」「優れた太鼓といわれたい」という願いを込めて「魁」と名付ける。

太鼓や皮づくりに生涯をかける職人の思いを大切にしたい心も伝え育成することにも力を注ぎ、それら熱い想いから生まれる、繊細かつ迫力の躍動する演奏は観客を惹きつけている。